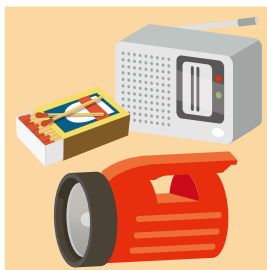
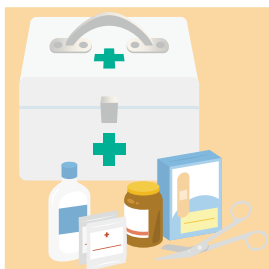


# 長野県手話ガイドブック

## 手話で話そう ～災害に備えて～



長野県

# 聴覚障がい者の困ることは？

## 存在に気づいてもらえない

呼びかけの音がきこえず、  
助けを求めるのが困難です。



## サイレンや放送がきこえない

周りの状況がつかめず、逃げ遅れ  
にもつな갑니다。



## 避難所で情報が得られない

音声でのお知らせや放送に気づか  
ず、孤立したり支援が受けられま  
せん。



防災無線や広報車のスピーカ  
ーから大音量の放送があるもの  
の、きこえず、避難が遅れた聴  
覚障がい者。大切な連絡手段  
であるFAXは停電で使えず、  
テレビも映らず、目で見える  
情報も断絶してしまいました。  
(聴覚障がい者の被災体験より)

危ない



危ない

避難してください



避難



必要

一緒に行きましょう



一緒に行く

救助



助ける

困ったことはありませんか？



困る



ある

消防



消防

ろう者



ろう

難聴者



難聴

盲ろう者



盲



ろう

障がい者



障がい



者

筆談



筆談

手話



手話

# わかりやすく伝える

きこえない人のコミュニケーション手段は手話や筆談、触手話などきこえの程度や年齢によってさまざまです。

また、きこえない人みんなが手話や文字を理解するわけではありません。命と安全を守るため、わかりやすく伝えてください。

## 身振りや指さしで伝える



## 口をゆっくり大きくあけて話す



## 短い文で書く、手のひらに書いて伝える



目がみえない、耳がきこえない盲ろう者は、特に自力での避難が困難です。本人の手のひらに状況を書いて伝えるなどをして、一緒に移動してください。



# どんなときにもコミュニケーションできるように、 非常用持ち出し品を確認しましょう。

チェック

<input type="checkbox"/> 補聴器 	<input type="checkbox"/> 補聴器用電池 	<input type="checkbox"/> スマートフォン 	<input type="checkbox"/> 充電器 	<input type="checkbox"/> 筆記用具 	<input type="checkbox"/> 笛・ブザー 
<input type="checkbox"/> 懐中電灯 	<input type="checkbox"/> ヘルプカード 	<input type="checkbox"/> 障がい者手帳 	<input type="checkbox"/> おくすり手帳 	<input type="checkbox"/> 持病のくすり 	<input type="checkbox"/> メガネ ・ルーペ 
<input type="checkbox"/> バンダナ・ビブス 	<input type="checkbox"/> 盲杖 		<input type="checkbox"/> 時計 	<input type="checkbox"/> 点字板 	<input type="checkbox"/> 家族の写真 

## おくすり手帳



薬



本(手帳)

## インターネット



インターネット

## スマホ



スマートフォン

## メール



メール

## FAX



FAX

## 電話



電話

## テレビ電話



テレビ電話

# 一緒に避難する

危険を音声だけでなく身振りや指さし、光の合図など、見てわかる方法で知らせましょう。



緊急の対処について、家の中に入って知らせなければならぬ場合もあります。隣近所や民生委員などと確認しておきましょう。



避難では隣近所のささえあい重要です。普段からあいさつするなどのつながりをもちましょう。



夜中、近所の人々が窓を何度もたたき、「水があふれているので早く逃げよう」と知らせてくれ、一緒に避難した。服など持って行くものも書いて教えてくれた。そのあとに、避難所の近くまで水が来て怖かった。もし、近所の人々が来てくれなかったらどうなっていたかわからない。  
(聴覚障がい者の被災体験より)

こんにちは



こんにちは

よろしくお願いします

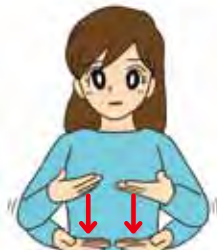


よろしく



お願いします

安全・安心



安全・安心

洪水や土砂災害に関する避難情報や防災気象の5段階区分

警戒レベル	市町村の対応	住民が取るべき行動
5	災害発生情報	命を守るための行動をとる
4	避難指示(緊急) 避難勧告	全員避難
3	避難準備 高齢者等避難開始	高齢者などは避難
2	—	避難場所や経路を確認
1	—	気象情報などに注意

文字表示装置



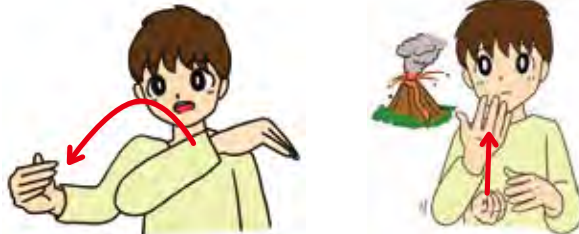
防災情報を、音声のほかメールやFAXで提供している市町村もあります。また、防災無線を文字で受信できるようにしているところもあります。(写真提供/中野市)

地震



地震

噴火



山

噴火

台風



台風

土砂崩れ



山

崩れ

火事



火事

雪



雪

雨



雨

洪水



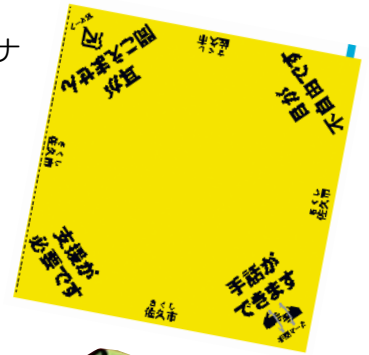
洪水

# 避難所へ行く

災害から命を守るため過ごす場所が避難所です。障がいや病気のことも係員に伝え、必要な支援を受け、きこえない人に申し出てもらうための掲示をしましょう。

きこえないことを知ってもらうためのビブスやバンダナもあります。自宅とは違い不自由なこともありますが、皆で協力して避難所の運営に安全に過ごしましょう。

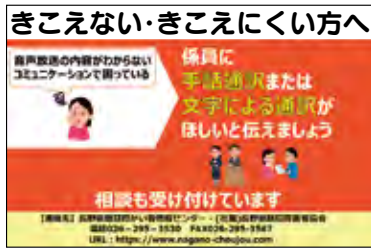
バンダナ



ビブス

(写真提供 / 上: 佐久市, 下: 塩尻市)

避難所での掲示例



## ケガはありませんか？



ケガ



大丈夫

## 落ち着いてください



落ち着く



お願いします

## 必要な支援は何ですか



必要



支援



なに？

## 避難所



避難



場所

名前



名前

住所



住所

どこ



場所



なに？

年齢



年齢

家族



家族

連絡



連絡

待つ



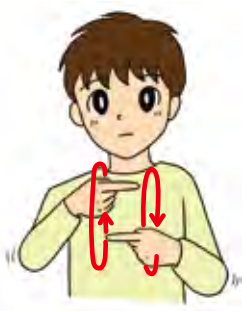
待つ

誘導



案内する

手話通訳



手話



通訳

要約筆記



要約筆記

# 避難所で過ごす

音声でのお知らせや放送、周りの話し声の内容がわからず、たくさんの方がいる避難所なのに、孤独を感じたという聴覚障がい者もいます。

炊き出しや飲み物がいつ配られるのかわからず、無料ということも、入浴できることも知らず1週間お風呂に入れなかった。  
(聴覚障がい者の被災体験より)



身ぶりや指さし、放送の内容を紙に書いて伝えるなどの支援をしましょう。



掲示板には行政などからのお知らせが貼られていますが、どれが自分に必要な情報かを探すのも大変です。「文字で書いてあるから大丈夫」では足りないことも覚えておきましょう。

文書の掲示も、期限が過ぎたものは外す、内容で整理して掲示するなど、わかりやすい掲示の工夫をしましょう。

避難所の体育館は音が反響して、放送の音声は聞き取りづらかった。食事の配布や注意事項も聞き取れなかったため、周囲の行動を見て判断した。  
(聴覚障がい者の被災体験より)



お知らせ・放送



お知らせ

ある



ある

ない



ない

ほしい



好き

配布



配る

無料



無料

服



服

布団



布団

食べ物



食べる

弁当



弁当

飲み物



飲み物

水



水

お湯



温泉・お湯

トイレ



トイレ

お風呂



入浴する

# 救急のとき

コミュニケーションがとれないことで不調を我慢したり、訴えたりすることができないこともあります。わかりやすく伝わると安心です。

痛い

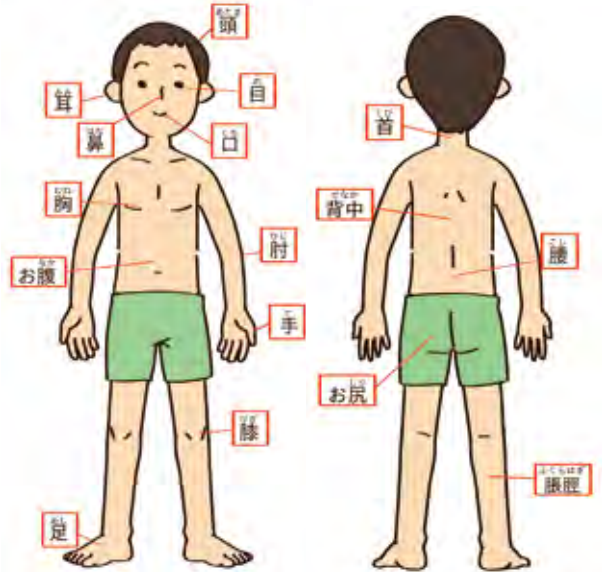


痛い

苦しい



苦しい



表情で  
程度を表します

わずか



少し



中くらい



とても



がまんできない



救急車を呼びますか



救急車



呼ぶ?

具合が悪いのですか



体



不調?

どこが痛みますか



体



痛い



どこ?

大丈夫ですか



大丈夫?

病気



病気

熱



熱

鼻水



鼻水

風邪



風邪

吐き気



吐き気

下痢



下痢

病院



脈



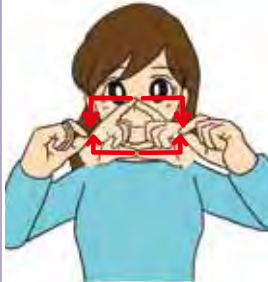
建物

薬



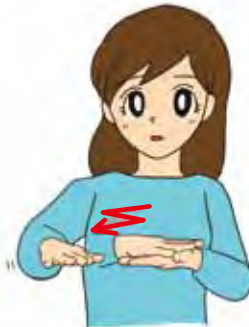
薬

マスク



マスク

消毒



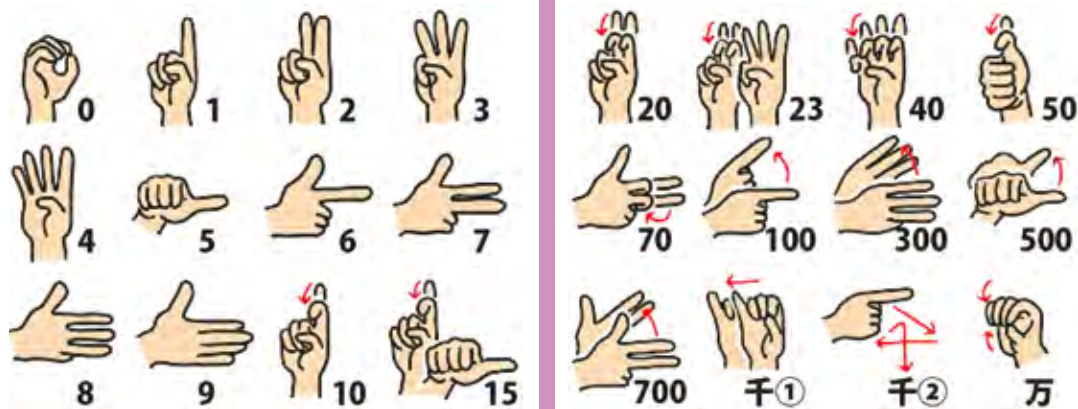
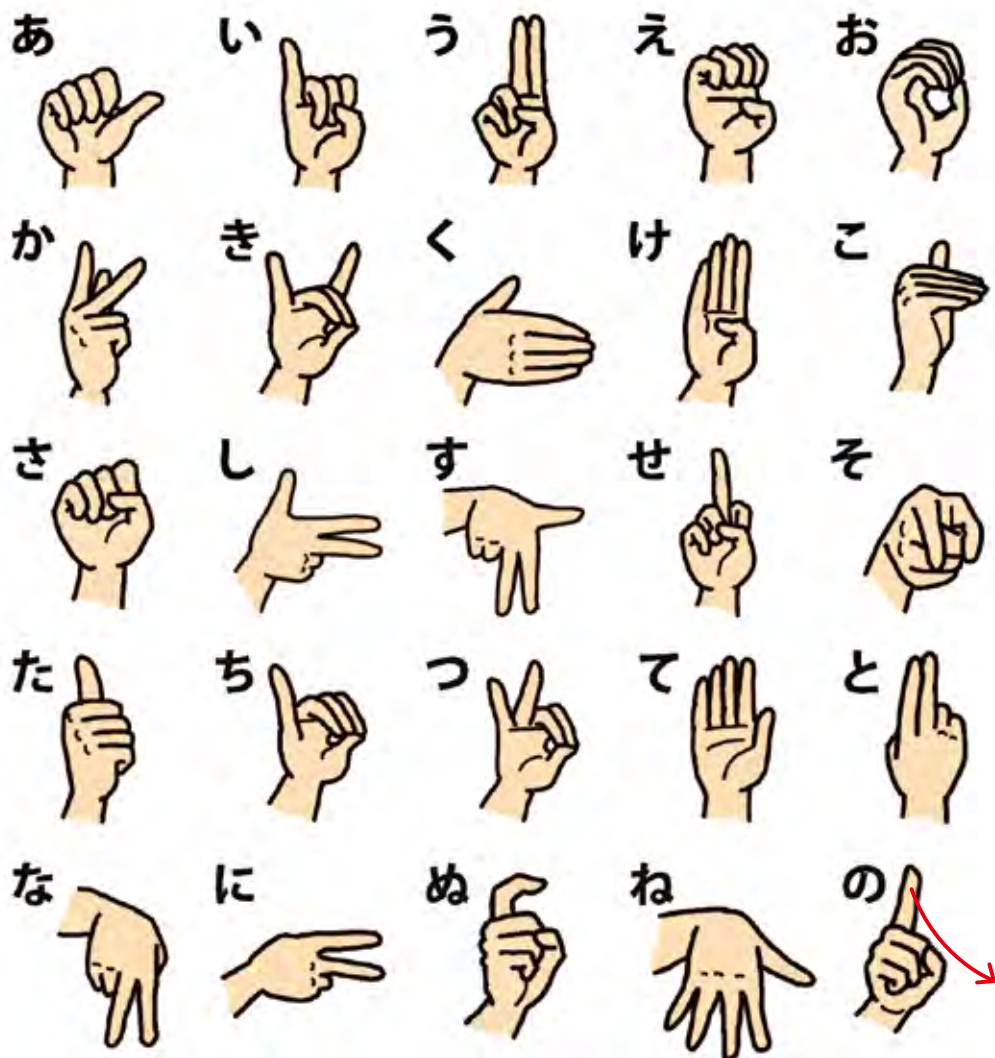
きれいにする

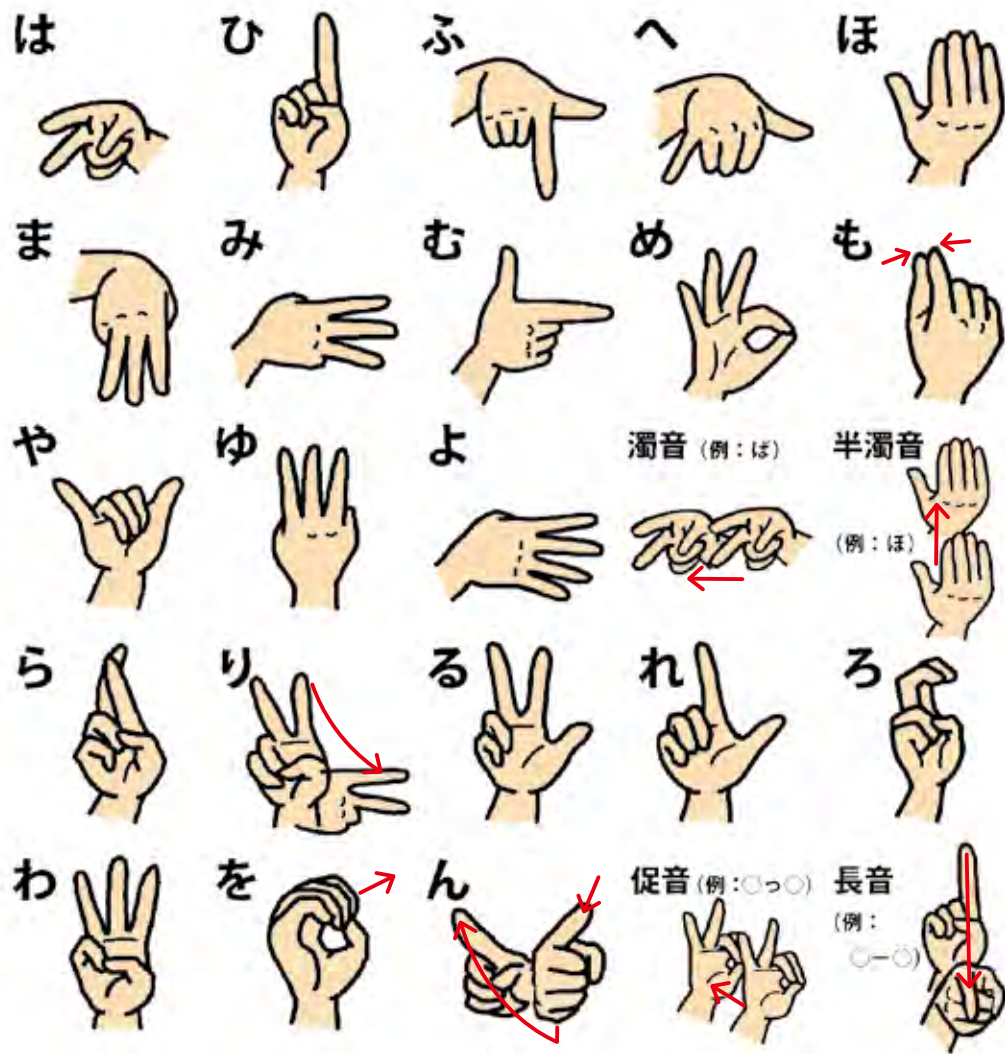
横になりますか



寝る?

# 指文字・数字





お金



お金

円



~円

時



時間

分

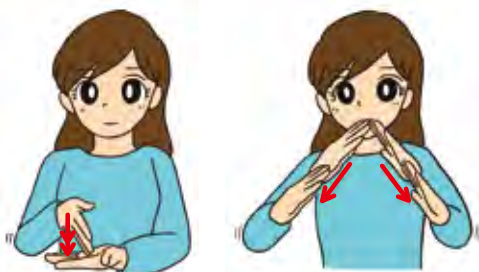


~分

# 生活再建の手続き

災害が落ち着いてくると、り災証明書や支援金、仮設住宅申込みなどの受付が始まります。説明会や手続き案内も放送だけでは、きこえない人は情報が得られません。文字情報の提供や通訳者の準備をしましょう。

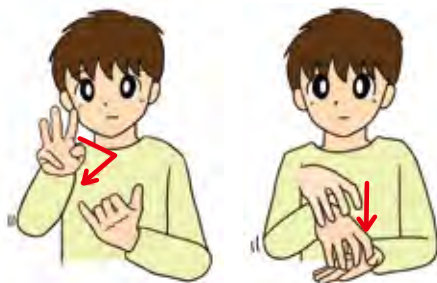
## 説明会



説明

会

## り災証明



り災

証明

## 支援金



助ける

お金

## 仮設住宅



仮

家

## 確認



確認

## わかる



わかる

## わからない



わからない

り災証明書は支援を受けるために必要です。市町村職員が確認する前に、家屋を片付けると証明が受けられないことがありますので、注意しましょう。

説明会や申請などの手続きで手話通訳・要約筆記が必要なときは、市町村職員に相談しましょう。

大規模災害のときは、他県・市町村からも応援で対応している場合もあり、係員の服やゼッケンに他県・市町村名が記されていることがあります。遠慮せずに相談しましょう。

倒壊



倒壊

損壊



壊れる

半壊



半分



壊れる

全壊



全部



壊れる

床上浸水



床上浸水

床下浸水



床下浸水

受付



受付

申請



申込み

書類



書く



書類(紙)

# 復旧活動

家屋や田畑の片づけに、ボランティアが来てくれることもあります。ボランティア窓口へ相談しましょう。

被災地ではボランティアを募集することもあります。宿泊や、活動中の手話通訳等は自分で用意するなどして、被災地の負担にならないよう心がけましょう。

被災地は、衛生や道路の状況、携帯電話の電波がよくないため、いつも以上に注意が必要です。また、余震などの二次災害にも気をつけましょう。



浸水した自宅の片付けをしているとき、ボランティアが支援の呼びかけをしていることを友人が通訳で教えてくれました。もし通訳がなかったら、ボランティアの情報も得られず、ずっと一人で片づけていたと思います。また、ゴミ袋や軍手なども避難所で無料配布していることにも気づかなかったと思います。  
(聴覚障がい者の被災体験より)

手伝ってください



手伝う



お願い

ありがとう



ありがとう

ボランティア



ボランティア

片付け



片付け

ゴミ



汚い

# 長野県より

この「長野県手話ガイドブック～災害に備えて～」は、令和元年 10 月の台風 19 号被害災害時の聴覚障がい者への情報提供や避難誘導、支援の課題を教訓にとりまとめたものです。

いざという時の手話による対応例をイラストで紹介しています。

また、イラストを指しながら対応できるように工夫しました。

多くの皆様が聴覚障がい者支援に関心を持ち、手話を使っていただくことも願っています。

(ガイドブック中の手話は、県内に住むろう者が一般的に使うものを掲示しています。)

## 通訳者等の派遣

聴覚障がい者のコミュニケーション支援として手話通訳者・要約筆記者を派遣する制度があります。派遣窓口は居住市町村の福祉担当です。

盲ろう者通訳介助員の派遣窓口は、長野県聴覚障がい者情報センターです。

災害等で市町村の福祉担当に依頼できない場合は、下記にお問い合わせください。

- 長野県健康福祉部障がい者支援課  
TEL 026 - 235 - 7104 FAX 026 - 234 - 2369
- 長野県聴覚障がい者情報センター  
TEL 026 - 295 - 3530 FAX 026 - 295 - 3567

## 遠隔手話通訳・電話リレーサービス

スマホやタブレットのビデオ電話で、通訳することを「遠隔通訳」と言います。災害現場に通訳者が到着するまでの間や、感染症のおそれがあるときは有効な方法です。

電話でのやりとりを手話や文字で通訳する「電話リレーサービス」もあります。

「遠隔手話通訳」について詳しくは、下記にお問い合わせください。

発行日 令和3年 3月  
発行 長野県健康福祉部障がい者支援課  
〒380 - 8570 長野市大字南長野字幅下692番地2  
TEL 026 - 235 - 7104 FAX 026 - 234 - 2369  
E-mail shogai-shien@pref.nagano.lg.jp



しあわせ  
信州